

# おぢや

# 市議会だより



OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 74

26.10.25

編集発行  
小千谷市議会  
☎83-3505



## わかば保育園

わかば保育園は、桜町（上）に位置し、桜町、両新田、山谷、坪野（下）の町内を中心に、現在77名の園児が通う保育園です。

昭和58年4月11日に西部保育所（へき地保育所）として開設されました。昭和60年4月にわかば保育所（認可保育所）となり、平成3年4月にわかば保育園と改称しました。平成10年度から0歳児保育が、平成11年度から一時保育も始まりました。

- 第3回定例会議決結果 …… P2
- 常任委員会報告 …… P2～3
- 一般質問 …… P4～5
- 議会日誌 …… P6
- 雪あかり、編集後記 …… P6

—主な掲載内容—

# 第3回定例会 議決結果

9月1日から9月22日まで開会し、次のとおり議決いたしました。

## 条例の制定・改正

- 小千谷市の基本構想策定等に関する条例の制定(全会一致)
- 小千谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定(全会一致)
- 小千谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定(全会一致)
- 小千谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定(全会一致)
- 小千谷市「中越大震災の日」を定める条例の制定(全会一致)
- 小千谷市税条例の一部改正(起立多数)
- 小千谷市国民健康保険税条例の一部改正(全会一致)

## 平成26年度予算の補正

- 小千谷市一般会計補正予算(第3号)(全会一致)
- 小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)(全会一致)

## 平成25年度決算の認定

- 小千谷市一般会計歳入歳出決算認定(起立多数)
- 小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定(起立多数)
- 小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定(起立多数)
- 小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定(起立多数)
- 小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定(起立多数)
- 小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定(全会一致)
- 小千谷市ガス事業会計決算認定(全会一致)
- 小千谷市水道事業会計の利益の処分及び決算認定(全会一致)
- 小千谷市工業用水道事業会計の利益の処分及び決算認定(全会一致)

## その他

- 小千谷市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定(全会一致)

- 専決処分(小千谷市一般会計補正予算(第2号))(全会一致)

- 契約の締結(変更)(市庁舎耐震化(建築主体)工事)(起立多数)

## 請願

- 消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願(不採択)
- 政府による緊急の過剰米処理を求める請願(不採択)
- 「学費の公私間格差是正にむけ、私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する請願(採択)

## 発議

- 学費の公私間格差是正にむけ、私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書(全会一致)

# 常任委員会報告

## 総務文教委員会

本委員会に付託されました議案10件のうち8件は総務文教委員会単独で、2件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。また、請願2件については、1件は採択すべきものと決し、1件は、採択しないものと決しました。

○議案第63号 小千谷市の基本構想策定等に関する条例の制定について

本案は、地方自治法の改正により、基本構想を議会の議決を経て定める旨の規定が廃止されたことに伴い、当市の基本的な指針となる基本構想の策定等の取扱いに関して条例を制定するものです。

○議案第64号 小千谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

本案は、子ども・子育て関連3法による児童福祉法の一部改正に伴い、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定めるものです。

○議案第67号 小千谷市「中越大震災の日」を定める条例の制定について

本案は、震災の経験と教訓を語り継ぐとともに、防災意識を呼び起こし、防災教育や防災訓練を通じ、意識を高める日、また震災で亡くなられた方々への慰霊を含めた思いを盛り込める日として位置づけ、中越大震災の日を定めるものです。

○議案第68号 小千谷市税条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地方税法の一部改正が平成25年3月30日に、地方税法等の一部改正が平成26年3月31日に公布されたことに伴い、条例を改正するものです。

○議案第70号 平成26年度小千谷市一般会計補正予算(第3号)について

今回の補正は、歳入歳出それぞれ1億4974万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ182億299万3千円とするものです。

○議案第73号 平成25年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定について

平成25年度歳入決算額は、187億8120万6188円、歳出決算額は183億129万1072円で、差し引き4億7991万5116円となっておりますが、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、4億2227万3216円の黒字となっております。

○議案第78号 平成25年度小千谷市ガス事業会計決算認定について

業務実績は、前年度に比べ供

給戸数は30件減の1万531件、供給量は2・2%減の1809万5342m<sup>3</sup>となりました。経営成績では、4770万2178円の当年度純利益となりました。

○議案第79号 平成25年度小千谷市水道事業会計の利益の処分及び決算認定について

業務実績は、前年度に比べ給水戸数は4件増の1万3816件となり、有収水量は2・2%減の427万7486m<sup>3</sup>であり、経営成績は、1億2594万8185円の当年度純利益となりました。利益の処分では、利益剰余金のうち減債積立金に4000万円、建設改良積立金に1億3600万円を積み立てるものです。また、翌年度繰越利益剰余金は12万1048円となります。

○議案第80号 平成25年度小千谷市工業用水道事業会計の利益の処分及び決算認定について

業務実績は、前年度に比べ給水量は14万2567m<sup>3</sup>増の268万1435m<sup>3</sup>となりました。経営成績は、7316万9898円の当年度純利益となりました。利益の処分では、利益剰余金のうち減債積立金に3300万円を積み立てるものです。また、翌年度繰越利益剰余金は1億618万9476円となります。

○議案第81号 平成25年度小千谷市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定について

業務実績は、水洗便所設置済

人口は3万3172人で、水洗化率は92・1%となりました。経営成績では、1億9887万1147円の当年度純利益となりました。利益の処分では、利益剰余金のうち減債積立金に2億5500万円を積み立てるものです。また、翌年度繰越利益剰余金は51万8648円となります。

○請願第6号 消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願

採決の結果、賛成少数で採択しないものと決しました。

○請願第8号 「学費の公私間格差是正にむけ、私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する請願

採決の結果、全員賛成で採択すべきものと決しました。

### 民生産業委員会

本委員会に付託されました議案9件及び請願1件について、慎重に審査した結果、議案9件については、原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。また、請願については採択しないものと決しました。

○議案第65号 小千谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

本案は、子ども・子育て支援法の制定に伴い、当市における運営に関する基準等を定めるも

のです。

○議案第66号 小千谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

本案は、子ども・子育て支援法及び児童福祉法の一部改正に伴い、当市における運営に関する基準等を定めるものです。

○議案第69号 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地方税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、関係条文を改正するものです。

○議案第71号 平成26年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

本案は、平成25年度の医療費に係る保険給付費等の確定に伴う精算によるもので、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1億2404万3千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ42億2687万7千円とするものです。

○議案第72号 平成26年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第1号)について

本案は、平成25年度の介護給付費等の確定に伴う精算によるもので、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ816万8千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ39億9690万5千円とするものです。

○議案第74号 平成25年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は、40億8715万5761円、歳出決算額は39億658万7567円で、歳入歳出差引額1億8056万8194円を翌年度へ繰り越すというものです。

○議案第75号 平成25年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は、35億9128万712円、歳出決算額は35億5715万3183円で、歳入歳出差引額3412万7529円を翌年度へ繰り越すというものです。

○議案第76号 平成25年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は、7億724万3431円、歳出決算額は6億8854万8519円で、歳入歳出差引額1869万4912円を翌年度へ繰り越すというものです。

○議案第77号 平成25年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は、7052万340円、歳出決算額は7000万9458円で、歳入歳出差引額51万4882円を翌年度へ繰り越すというものです。

○請願第7号 政府による緊急の過剰米処理を求める請願

本請願は、緊急に過剰米処理を行うことを求める意見書を政府関係機関に提出していただきたいというものです。

採決の結果、賛成少数で採択しないものと決しました。

### 会議録の閲覧

市議会本会議の会議録(平成15年第1回定例会以降)は市ホームページからご覧いただけます。

会議録はパソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。

(平成26年第3回定例会の会議録掲載は、11月末頃となります。)

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

### 議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。

本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。

(録画映像は本会議終了後、通常、休日(土日・祝祭日等)を除く5日後からご覧いただけます。)

配信期間は1年間で、平成26年6月定例会の録画からご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

# 市政の内容を 聞く 一般質問

## 新病院・旧三洋など 谷井市政の検証

長谷川有理 議員

**質問** 新病院総事業費は土地購入費も含めて100億円見込みとの報道が本年3月にあったが公設民営で同じく厚生連運営の水原郷病院は250床の病院建設総事業費が60億円から75億円へ、現在では100億円と当初の見込みから増額した。当市は有形支援を表明しているが具体的な内容は。人件費、資材の高騰等、今後増額の影響を受けないか。また新病院の事業計画をしっかりと提示していただきたい。

**答弁** 具体的な金額は、今後議会と協議していきたい。



事業計画は厚生連の計画が明らかになった時点で遅滞なく市民の皆さんに提示したい。

**質問** 県調査の病院医師数の数値を見ても両病院とも医師の数が不足しているが、JA新潟厚生連理事會とは医療従事者確保等、意見交換ができているのか。

**答弁** 厚生連から医師確保の要望があれば、市長として全て対応する心構えではある。

**質問** オン・セミコンダクター(株)の当市工場集約で移住者のため住宅補助施策等の構想をしていたが見通しは。

**答弁** 当市工場集約による転入者は20人くらいで定住者はゼロ。今後増員なし。

**質問** 集約は発展のチャンス、重要政策の1番として集約計画に伴い住宅新築補助制度の新設検討等をあげてきたもくろみや構想と何が違ったのか。教訓は。

**答弁** 最大の予測で対応したが少なかった。人材派遣も多かった。

**質問** マイホームを建て、子育てに頑張っていた当市の30代、40代の層が三洋やパナソニックのリストラで打撃を受けた。転職や起業で頑張っておられるがやはり人生設計の変更を余儀なくされた。これからの当市の活性化における課題は何か。

**答弁** 地場産業の一層の発展。



### AED及び空き家バンクの活用について

阿部 正行 議員

自動体外式除細動器AEDについて

**質問** 当市の設置状況について

**答弁** すべての公共施設に設置し、適正に管理している。

**質問** 過去にAEDを使った事例は。

**答弁** 過去10年間に9件あり、うち3件は電気ショックを与え、1件は社会復帰している。

**質問** AEDについて市民への働きかけは。

**答弁** 傷病者の命を救うAEDは重要な器材であり、いざというとき市民に使用してもらうために消防本部、自主防災会、学校等での講習会を後押ししたい。

**質問** 学校での取り組みは。

**教育長答弁** 各学校に設置して定期的に教職員、保護者を対象とした講習会を実施している。

### 空き家バンクの活用について

**質問** 当市の状況は。

**答弁** 定住促進事業の一つで平成19年から実施し、これまで20件が登録、成約件数12件で今後専門機関と連携強化したい。

**質問** 空き家や空き店舗数は。

**答弁** 平成20年の調査は空き家は1160戸、うち賃貸等が570戸、店舗は38戸である。

**質問** 空き家を修繕する費用の補助制度を創設したらどうか。

**答弁** 定住人口の増加を図るとともに地域経済の活性化のため、市内に転入される方に新築等取得したとき上限80万円、中古には30万円の制度がありこれを活用してもらいたい。

**質問** 移住者に対してのアフターケアの強化について

**答弁** 転入後の生活が円滑に進むよう細やかな配慮をしたい。

## 統合新病院への市としての支援について

吉崎 進 議員

繰り入れられている。私は、環境うるおい基金から約20億円と財政調整基金から約10億円、合計30億円を助成、補助すべきと考える。その理由として、統合新病院は市民の健康を守り、安心、安全を市民に提供するものになり、市民の環境を潤すことになると考え、環境うるおい基金から助成、補助することには何ら問題は無いと考える。また、30億円は、一般会計の約1/6にあたり、多いと思う方もおられると思うが、市がいかに統合新病院に期待しているかを表し、また、厚生連に市の熱い思いを伝えることになる。さらに、この金額を開院1年前の来年10月までに一括して助成、補助した方が使い勝手が良いと思うがいかがか。

**答弁** 統合新病院は、市民の健康福祉環境充実に深く関わるもので、当市としても大きな期待を寄せているところであり、その実現のためには金銭的支援を含めた有形支援が必要と考えている。具体的な金額については、



統合新病院模型

提案の趣旨も参考にしながら、今後、議員の皆さんとも協議をお願いしたい。助成、補助する時期については、併せて協議させていただきたいと考えている。

### 魚沼地域胃集団 検診協議会について

山賀 一雄 議員

**質問** 平成28年3月末で検診業務を終了し、整理・清算をした後、廃止することについて、これまでの協議回数、内容、結果等について。

**答弁** 運営委員会で5回、構成市町担当課長会議を4回開催し、問題点を協議した。

**質問** 胃検診協議会廃止に至る状況変化と継続することの選択肢について。

**答弁** 平成21年以降の状況変化が主なもので、構成市町は医療機関再編・整備の中で、地元医療機関や検診機関で、がん検診を実施したい等の意見が大半で、胃検診協議会継続の意見はない。

**質問** 職員雇用態勢の是正検討と責任の所在について。

**答弁** 是正を行うべく協議したが、結論を出すまでに至らなかった。また、責任は構成市町全てにあると考えている。

**質問** 胃検診協議会廃止に伴い、構成市町に自動的に採用・帰属される現状ではない。職員の再就職先等については、不利益が生じることのないよう努力したい。

**質問** 検診事務の整理・清算は誰がするのか。

**答弁** 整理・清算は、経費も含め構成市町が行う予定である。

**質問** 廃止後の検診体制確保と検診精度の維持・管理について。

**答弁** 住民サービスの低下を招くことのないよう、検診精度の維持・管理を図ることを含め、協議する考えである。

### 震災から10年経過した 小千谷の防災について

久保田陽一 議員

**質問** 自主防災会に対して非常食の備蓄の指導や補助は行っているのか。

**答弁** 指導や補助は行っていない。災害時に備え3日分程度の非常食の備蓄を心がけるよう市ホームページなどを通じて周知している。

**質問** 賞味期限間近の非常食はどのようにして処理しているのか。

**答弁** 賞味期限間近の非常食の有効活用を図るため、全ての自

主防災会に案内し、希望された自主防災会に無償提供。地域の防災訓練やイベントなどで活用されている。

**質問** 市備蓄の非常食にアレルギー対応食はあるのか。備蓄していない場合今後の備蓄予定は。市内在住の食物アレルギーのある人の把握が必要では。

**答弁** 備蓄の非常食にアレルギー対応食はない。食物アレルギーがある人は避難所に申し出ていただき、市販品の調達や支援物資などで対応を想定している。将来的には事前の把握を検討したい。

**質問** NPOや企業とアレルギーに関する災害及び平常時に係る支援協定を締結すべきでは。

**答弁** 今後アレルギー対応食の取扱店などの物資供給にかかわる協定の締結を検討したい。



**質問** 杉並区などが無料配信しているスマートフォン向け防災アプリケーションの導入は。先進的な取り組みをしている杉並

区への職員の派遣、最新の防災技術の習得と小千谷市へのフィードバックが必要では。

**答弁** 先進的自治体である杉並区などとの担当者レベルでの情報交換を行い、導入に必要な情報、経費及び費用対効果を調査し検討を行う。

### 国保税の引き下げ、医療、介護等について

風間 健一 議員

**質問** 安倍内閣の集団的自衛権行使容認の閣議決定は、米国が戦争を起こしたとき、「戦闘地域」であっても自衛隊を戦地に送ることを認めています。「海外で戦争しない」という原則がひっくり返され、日本が「戦争する国」として「殺し殺される国」になるのは明らかです。「集団的自衛権」について市長はどのように考えるか。

**答弁** 国防の問題であり、国会で大いに議論していただきたい。

**質問** 建設業者は仕事が減り困っている。住宅リフォームの助成制度を再開していただきたい。

**答弁** 現在再開は考えないが、今後の経済状況により検討する。

**質問** 国保税を一般会計から繰り入れて、1人当たり1万円引

き下げていただきたい。

**答弁** 一般会計からの繰り入れはしないが、国保税の引き下げは国保の広域化の動向や、保険給付費の支出状況や国保基金の積み立て状況を勘案し検討する。

**質問** 政府は2025年までに、医療、介護の費用抑制のため病床を減らし、入院患者を地域・在宅へと追い出す計画です。病院から追い出された患者の受け皿として、政府が整備しようとしているのが「地域包括ケアシステム」です。これにより24時間、30分以内に「医療、介護、介護予防、生活支援、住まい」の5つのサービスを一体で提供できる支援体制をつくると思っています。小千谷市の「地域包括ケアシステム」の構築はどうか。

**答弁** 地域包括ケアシステム構築に向け、在宅医療連携協議会設置に向けた準備会を開催した。12月には100人規模の多職種連携研修会を予定している。



〈7月〉

2日 総務文教委員会行政視察  
に出発（沖縄県南城市・石垣市）

8日 議会報編集委員会  
9日 山本道男議員逝去  
14日 議会報編集委員会

〈8月〉

7日 議員協議会  
議員全員協議会  
20日 中越地区市議会合同議員  
研修会（柏崎市）

25日 議会運営委員会  
26日 県市議会議長会秋季定期  
総会（長岡市）

〈9月〉

1日 第3回定例会（本会議）  
議会報編集委員会  
2日 常任委員会連合審査会  
3日 常任委員会連合審査会  
4日 総務文教委員会  
5日 総務文教委員会協議会  
民生産業委員会  
民生産業委員会協議会  
17日 議会運営委員会  
本会議（第2日）  
議員協議会  
市庁舎耐震化工事説明会  
議会報編集委員会  
議会運営委員会

22日 本会議（第3日）  
25日 福島県本宮市議会行政視  
察に来市  
30日 統合新病院説明会

市議会を傍聴してみませんか

第4回定例会開催予定

12月8日(月) 第1日 議案上程説明  
12月9日(火)～12月11日(木) 各常任委員会で審査  
12月18日(木) 第2日 一般質問  
12月19日(金) 予備日 一般質問(質問者が多い場合に開催)  
12月22日(月) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。  
各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(TEL83-3505)へお問い合わせください。  
なお、委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。  
また、議会の日程は、市ホームページからご覧いただけます。 URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>



56



内藤 久司（旭町）

「テレビの旅番組で、俳優の火野正平さんときどきつづぶやく。『人生、下り坂最高』。自転車での旅をしながら峠道を下る場面で口にすることが多い。

苦しい上り坂から解放された爽快感が漂う。決して後ろ向きでない、下り切ったらまた上ればいい、どん底の後は頂点につながる道があるだけだ。そんな解りもできる名文句である」（以上日報抄から）。何か心に感じる文面である。

私もふと自問めいたことをしたことがあります。自分の人生は極く平凡であったが、このまま無事に仕事を勤め終え、再就職先でも見つけ、働ければまづまずの人生になるのではないかと。

こんな思いをめぐらせていた定年一年位前のことでした。やっとなしは上って来たと思われた私の人生に「下り坂」にさしかかったかなという兆候が見え始めたのです。

体調が思うようでない、好きな酒も欲しくない、検査や医師の診察が続く、そしてついには、病氣、手術入院となってしまいました。そんな病も大げさに言え、死を身近に感じ、人生どん底という思いだった。「下り切ったらまた上ればいい」の名文句も、その当時の私には思いもつかないものでした。

幸いにも命にはかわりなかつた。今は、低くてもいい、人生「上り坂」にしよう、そんな思いの日々です。  
「人生、上り坂最高」。



編集後記

稲刈りが終わり、山々の木々も色づき始めました。秋本番です。

しかし、今年は夏から異常気象でした。8月、9月の全国各地での短時間記録的豪雨による災害。木曾御嶽山の水蒸気噴火。そして、台風18号の後、台風19号が日本を縦断しました。2週間続けての台風は、10年ぶりのことです。幸い小千谷は、大きな影響を受けず、被害もありませんでした。災害で亡くなられた方々に心よりお悔みを申し上げます。また、被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。

これからは、また雪の時期になります。11月に入りますと、冬囲い等で、忙しくなりますが、高いところでの作業などで、けがをしないよう、お気をつけください。

今冬の降雪は、どうなるのでしょうか。夏があまり暑くなかったので、小雪なのでしょう。こればかりは、降ってみないと分かりませんが、少ないことを願うばかりです。